Stage Activity/Projectにおける指導と評価の計画作成について

指導と評価の計画　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【作成者：関市立下有知中学校　田中　大輔】

**内容のまとまり**

「話すこと　[発表]」　イ

**単元名**

第２学年　NEW CROWN

Project２

指導の根拠

・「内容のまとまり」とは，学習指導要領に示す各教科等の「第２　各学年の目標及び内容　２内容」の項目等を細分化したり整理したりしたもの

**１　「話すこと　[発表]」における第２学年の目標**

日常的な話題や社会的な話題について，自分の経験や他教科等で学習したことに基づいた事実や自分の考え，気持ちなどをまとめ，その理由なども踏まえて，まとまりのある内容になるように構成を工夫しながら話すことができる。

学習到達目標

・今年度作成及び改良する「学習到達目標」より抜粋する。

**２　Stage Activity/ Projectの目標**

冬休みに県内に日帰り旅行を計画しているALTが気に入るプランを提案するために，ALTの趣味趣向が分かるようにfood, Sightseeing, Cultural activitiesの３観点で質問することで情報をまとめ，根拠を明確にしてALTの理解を確認しながら提案することができる。

内容面

・言語活動を行う目的や場面，状況を文言の中に記載する。

書きぶり

・令和２年度に作成したWays No.61の「単元構想図」に記載されている内容を基にして記載する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・比較級や不定詞の特徴やきまり等，提案するための表現を理解している。  ・ALTの趣味趣向を踏まえた上で，自分の考えを伝える技能を身に付けている。 | 冬休みに県内に日帰り旅行を計画しているALTが気に入るプランを提案するために，ALTの趣味趣向が分かるように質問することで情報をまとめ，根拠を明確にしてALTの情報について確認しながら提案している。 | 冬休みに県内に日帰り旅行を計画しているALTが気に入るプランを提案するために，ALTの趣味趣向が分かるように質問することで情報をまとめ，根拠を明確にしてALTの情報について確認しながら提案しようとしている。 |

**３　Stage Activity/ Projectの評価規準**

**４　主な言語活動における留意点**

|  |
| --- |
| **【プレゼンテーション活動における留意点】**  １根拠となり得るものは主観のみではなく，客観的な事実も必要であると指導する。  ２聞き手の反応を見て，提案内容を付け加えたり削ったりすることも重要な力であることを指導する。  ３画像の選択のみではなく，どのタイミングで画像を提示すると有効か考えることを指導する。 |

留意点

・令和２年度に作成したWays No.61の「単元構想図」に記載されている内容を基にして記載する。

・主な言語活動とは，スピーチ/プレゼンテーション/ディスカッション（ディベート）の３つとする。

※R4から留意点のみを記述することとする。主な言語活動を指導する際に，大前提となること，より指導に効果が出る方法等を記述する。

**５　展開案を含む指導計画**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 主な言語活動 | 備考 | 知 | 思 | 態 |
| １ | ■３つの修学旅行プランを読み，マークたちのグループの提案を理解する活動を通して，プランと提案のつながりを理解し，自分ならどの場所で何の活動を提案するのか話すことができる。  ①Small Talk  ②１.Read,2.Listenを行う。  Let’s suggest school trip plan.  ③  本時の課題  ・基本的に英語で記述する。（TNR10pt）  ・枠線はテキストボックス二十直線（3pt）  ④  ⑤ | 小学校における学習内容とのつながり  ・●を小学校想起マークとする。  ・枠線はテキストボックス直線(0.5pt)  ・英語TNR10pt，文字10pt  記録に残す評価を行わない時間  ・この例のまま記載する。 |  | 展開案作成時間以外の単位時間  ・「ねらい」と「主な言語活動」のみを記載する。 | 記録に残す評価は行わない。ただし，ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。 |
| ２ | ■  ①Small Talk  展開案  ・枠の線は1.5ptで囲む。 | ●②において，国を紹介する活動で学んだ「理由を付け加える」を思い出させ，内容面と表現面について指導する。 |  |  |  |
| ３【展開案】 | ■  ①  Let’s suggest trip plan in Gifu.  ②  ③複数のペアでスピーチ練習を行う。  ④  ⑤  I heard you like skiing. I recommend you a special place. The name is Chao. Look at this! … | ICT活用　※必ず記載する  ・教師の立場で記述する。  ・枠線はテキストボックス丸四角(0.75pt)  ・◆をICT活用マークとする。  ・文字10pt  ◆③において，「音声認識機能」を活用して，正しく発音ができているかを確かめるように促す。 | ○ | ○ |  |
| 後日 | ペーパーテスト  ・到達させたい生徒の姿として具体的に英文で記述する。  ・生徒同士が対話する場合は「S1」「S2」を用いる。  ・英語TNR10pt  ・枠線はテキストボックス点線(0.75pt) |  | ○ | ○ | ○ |

（注１）主な言語活動は多くても５つまでとする。その言語活動は「個別最適な学び」か「協働的な学び」のどちらであるかを意識し，それぞれの学びを一体的に充実させる。

（注２）主な言語活動を記載する際，主語は生徒とする。

（注３）■…ねらい，丸数字…主な言語活動を示す。

（注４）記録に残す評価を行わない時間がある。その際は例のように記す。

（注５）備考［ICTの活用］を記載する際，文部科学省ICT活用教育アドバイザーが作成するホームページ「StuDX Style」を参考にする。【例…「ポジショニング機能」を活用して、一人一人の考えの変化の大きさを把握する。】

（注６）備考［小学校における学習内容とのつながり］を記載する際，語彙のみではなく，小学校で学習した「場面」と「表現」を想起できるように，小学校における指導内容（東京書籍NEW HORIZON Elementaryの教科書を基に）を把握する。

指導と評価の計画枠

指導と評価の計画　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【作成者：○○立○○中学校　□□□□】

指導の根拠

・「内容のまとまり」とは，学習指導要領に示す各教科等の「第２　各学年の目標及び内容　２内容」の項目等を細分化したり整理したりしたもの

**内容のまとまり**

　「話すこと　[やり取り]」　ア

**単元名**

第３学年　NEW HORIZON

Unit1　Sports for Everyone

**１　「話すこと　[やり取り]」における第●学年の目標**

日常的な話題や社会的な話題について，客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の意見や主張とその根拠等を，対話がより継続・発展するよう，聞き手の理解に応じて他の表現で言い直すなどの工夫をしながら，５往復程度の対話で話すことができる。

学習到達目標

・小中英研作成「学習到達目標」より抜粋する。

**２　単元の目標**

障がい者スポーツについての理解を深め，人々を結びつけるスポーツの力について考えたり，相手のニーズに応じた提案をしたりするために，これまでの経験や提案内容を支える理由等の情報を整理して，要点を捉えたり伝えたりすることができる。

内容面

・言語活動を行う目的や場面，状況を文言の中に記載する。

矢印

・これを使用し，該当単元の下に移動する。

書きぶり

・令和２年度に作成したWays No.61の「単元構想図」に記載されている内容を基にして記載する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・want A to～や間接疑問文の特徴やきまり，引用するための表現を理解している。  ・英語と自分とのかかわりについて考えたことや感じたことなどを用いて伝え合う技能を身に付けている。 | 社会的な話題（英語と自分とのかかわり）に関して読んだことについて，考えたことや感じたことなどを，聞き手の理解に応じて同意や反対をしたり，さらに付け足しをしたりして伝え合っている。 | 社会的な話題（英語と自分とのかかわり）に関して読んだことについて，考えたことや感じたことなどを，聞き手の理解に応じて同意や反対をしたり，さらに付け足しをしたりして伝え合おうとしている。 |

**３　単元の評価規準**

**４　主な言語活動における留意点**

|  |
| --- |
| **【ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ（ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ）活動における留意点】**  １メモや書いた意見を参考にしながら話してよい。  ２意見を支える理由を実生活と結び付けて考える。  ３やり取りを円滑にするIdea Boxやフレーズ集を使用してもよい。  ４自分の意見と違う立場の意見を予測した意見を用意しておく。意見を有利にする（より主張ができる）情報を事前に得ておく。 |

留意点

・令和２年度に作成したWays No.61の「単元構想図」に記載されている内容を基にして記載する。

・主な言語活動とは，スピーチ/プレゼンテーション/ディスカッション（ディベート）の３つとする。

※R4から留意点のみを記述することとする。主な言語活動を指導する際に，大前提となること，より指導に効果が出る方法等を記述する。

**５　展開案を含む単元指導計画**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 主な言語活動 | 備考 | 知 | 思 | 態 |
| １ | 本時の課題  ・基本的に英語で記述する。（TNR10pt）  ・枠線はテキストボックス二十直線（3pt）  展開案  ・枠の線は1.5ptで囲む。 |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |  |
| ３【展開案】 | ■“city life”と“country life”についての説明を聞く活動を通して，…  ①  Let’s discuss some social problems in groups!  ②  ③複数のペアでスピーチ練習を行う。  ④  I think country life is better. We can enjoy fresh and healthy food. There is a lot of beautiful nature. If we live there, we can help each other. … | ・初見の短い英文を読む活動を継続的に行い，読む力を育成する。  ◆③において，「音声認識機能」を活用して，正しく発音ができているかを確かめるように促す。  ICT活用　　　　　　　※必ず記載する  ・教師の立場で記述する。  ・枠線はテキストボックス丸四角(0.75pt)  ・◆をICT活用マークとする。  ・文字10pt | ○ |  |  |
| ４ | ・到達させたい生徒の姿として具体的に英文で記述する。  ・生徒同士が対話する場合は「S1」「S2」を用いる。  ・英語TNR10pt  ・枠線はテキストボックス点線(0.75pt) |  |  |  |  |
| ５ |  |  |  |  | 記録に残す評価は行わない。ただし，ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。 |
| ６ | 展開案作成時間以外の単位時間  ・「ねらい」と「主な言語活動」のみを記載する。 |  |  |  |  |
| ７ | ■  教科書の構成  ・太字で記載する。  ①  ② | 記録に残す評価を行わない時間  ・この例のまま記載する。 |  |  |  |
| ８【展開案】 | **Unit Activity**  ■写真や図表を参考にしながら，要点を把握し，その内容に対する賛否や自分とグループの考えを５文程度で表現することができる。  ①  Which is better for watching movies, DVDs or theaters?  ②  ③  We think DVDs are the best way to watch movies. First, most people can relax because they don’t have to go out. （中略） Second, DVDs are cheaper than theaters. So we think this is the best way. | ・単元を通じて，「聞き方」を掲示し，リピートを意識させ続ける。  小学校における学習内容とのつながり  ・●を小学校想起マークとする。  ・枠線はテキストボックス直線(0.5pt)  ・英語TNR10pt，文字10pt  ※１年生部会のみとする  ●②において，国を紹介する活動で学んだ「理由を付け加える」を思い出させ，内容面と表現面について指導する。 |  | ○ | ○ |
| ９ |  |  |  |  |  |
| 後日 | ペーパーテスト・パフォーマンステスト |  | ○ | ○ | ○ |

（注１）主な言語活動は多くても５つまでとする。その言語活動は「個別最適な学び」か「協働的な学び」のどちらであるかを意識し，それぞれの学びを一体的に充実させる。

（注２）主な言語活動を記載する際，主語は生徒とする。

（注３）■…ねらい，丸数字…主な言語活動を示す。

（注４）記録に残す評価を行わない時間がある。その際は例のように記す。

（注５）備考［ICTの活用］を記載する際，文部科学省ICT活用教育アドバイザーが作成するホームページ「StuDX Style」を参考にする。【例…「ポジショニング機能」を活用して、一人一人の考えの変化の大きさを把握する。】

（注６）備考［小学校における学習内容とのつながり］を記載する際，語彙のみではなく，小学校で学習した「場面」と「表現」を想起できるように，小学校における指導内容（東京書籍NEW HORIZON Elementaryの教科書を基に）を把握する。

|  |
| --- |
| 「書くこと」『思考・判断・表現』を測る問題（枠） |

＜問題作成時における考え方＞

|  |
| --- |
| ［書くことにおける「思考・判断・表現」問題の作成について］  　文章の正確さ，適切さ，条件に合って書いているかということ評価できる問題を作成します。 |

「対象学年：３年生」

|  |
| --- |
| ［問題１］  　あなたは友達のHelenから電子メールを受け取りました。メールの内容を読んで，Helenに３０語以上で返事を書きなさい。その際，あなたが考えたこと，そう考えた理由や経験も述べなさい。  Hi  How are you doing?  I’m angry with my classmate Maki today.  We were supposed to meet at the movie theater at 9. I went there at the appointed time, but she wasn’t there. I called her, but she didn’t answer the phone. She finally appeared at about 10. When she came to me, she just said, “Hi.’’ She didn’t apologize to me! I got very angry and said, “I don’t want to be with you today.’’ She said something to me, but I left. What do you think?  Your friend  Helen  ＜解答例＞  I can understand your feeling, but you should ask her “Why were you late?’’. I think you and Helen misunderstood. I had a same experience to you. I didn’t ask my friend about the reason at that time. Maybe Helen thought the appointed time was at 10. You should call her! |
| ［問題作成の意図］  ［思・判・表］Helenに適切なアドバイスを与えるために，電子メールを読んで，感じたことや自分の意見を整理して，英文を書いている。  ［　態　度　］Helenに適切なアドバイスを与えるために，電子メールを読んで，感じたことや自分の意見を整理して，英文を書こうとしている。  英文を読んで，感じたこととその理由を，経験を基に書くというまとまりのある英文を書くことができるか評価する問題を作成した。英文だけでなく指示文の条件を理解し，適切な応答ができることで，思考・判断・表現の能力が身に付いていると評価する。 |

（参考文献：新３観点の学習評価完全ガイドブック　明治図書　著者：本多敏幸）

上記二重線の［態度］に関する文章ですが，言語活動を行っている際に表出した姿のことを主体的に学習に取り組む態度と定義しているため，ペーパーテストでは評価しないと訂正します。